

自社内での DTP のスキルを高め スピーディな情報発信を目指す

課題

BtoC強化のため 迅速な情報発信を図りたい

京都府北部の丹後半島一帯（丹後地方）は、古くから「丹後ちりめん」の生産が盛んな地域である。与謝野町にあるクスカ株式会社も、1936年の創業以来、丹後ちりめんの製造販売、ちりめん小物の製造を手がけてきた。

やがてファッションやライフスタイルの変化にともない、需要が減少するなか、同社では2010年、「伝統・ファッション・芸術の融合」をコンセプトに自社ブランド「KUSKA（クスカ）」を立ち上げ、ネクタイやストールを中心としたコレクションを展開。都市部のセレクトショップや百貨店のほか、京都市内に自社店舗も構え、販売に力を入れている。

すでに営業力と商品力でセレクトショップや百貨店などとの取引においては深い信頼関係を構築しており、一定の販路開拓の成果をあげている同社だが、今後は直接消費者に販売することに力を入れたいと考えていた。これにより、財務強化を図り、企業体力を強靱なものにすることが課題だった。

そのためには、今まで以上に消費者が求める情報を積極的に発信する必要がある。

しかし現在、広告やWEBデザインは他社に外注しており、細かな変更や更新にスピーディに対応ができない。同社では、自社で基礎知識を学び、SNSなどでスピーディな情報発信を行い、BtoCの強化を図りたいと考えていた。

支援

専門家派遣を活用し デザインスキルアップ

与謝野町商工会では同社に対して2015年から3年連続で小規模事業者持続化補助金を通じた販路開拓支援を行ってきた。

たとえば2017年には、海外展開を視野に、イタリア・フィレンツェで毎回開催されている世界最大のメンズ服飾展示会に出展。世界中のバイヤーに「KUSKA」のコレクションを披露している。こうした販路開拓により、新規有力取引先を獲得するなどして、売上高は年々順調に増加している。

そして、同社のBtoC強化の課題解決に向けても、商工会ではIT活用支援を実施。京都府商工会連合会の専門家派遣制度を活用し、WEBデザインや広告についての基礎知識や効果的な活用方法などについて、同社WEB担当者に4回に



クスカの商品「丹後ジャガードタイ」

わたって指導を行った。

具体的には、イラストレーター、フォトショップを使って展示会DMやWEBデータを作成。画像処理や色彩、レイアウト、フォントなどにおける、効果的なデザイン作業について、基礎から応用まで使いこなせるようにDTPのスキルアップを図った。

こうして、課題だった細かな変更や更新を自社内でスピーディに行える基礎を固めることができた。

支援の経過

期間	支援内容
2015年～	持続化補助金の活用支援（販路開拓）
2019年	IT活用支援

会社概要

会社名：クスカ株式会社
 住所：京都府与謝郡与謝野町岩屋384-1
 電話番号：0772-42-4045
 URL：https://www.kuska.jp
 代表者名：代表取締役 楠泰彦
 創業年：1971年（法人化）
 従業員数：10名
 商工会名・担当者名：与謝野町商工会・河島清志